

丹波市議会だより たんばりんぐ

令和 4 年

10

No.71

TAMBA CITY

6月

9月

3月

12月

定例会は
年 4 回



画：兵庫県立柏原高等学校 美術部



たんばりんぐ

CONTENTS

P2 R3 年度決算をチェック！

- P5 議案の審議結果
- P6 ココがギロンの論点
- P8 委員会からの報告

P12 ココが聞きたい！一般質問

P18 R4年度第2回
市民との意見交換会
お知らせ

Open!

議会が
チエツク！9月定例会のメインは
「決算審査」

9月定例会では、予算決算常任委員会です令和3年度の「決算審査」を行いました。

この「決算審査」は、前年度の予算が目的にそって適切に使われているかどうかを審査し、今後の予算や事務執行につなげる重要な役割を担っています。

決算の詳しい金額や財政指標などは、広報たんば10月号に掲載されていますのでご覧ください。



丹波市ホームページ

普通会計 歳出総額 368 億 3,647 万円のまちづくり

生活保護率が
低いのはなぜ？

丹波市の生活保護率（0.21％）は県下で2番目の低さ。その審査課程に問題がないか、質疑が相次ぎました。

問 生活保護を申請する際に親族に問い合わせが入ることが申請率の低さを助長しているのではないかな。

答 親族への問い合わせについては、申請者の意向を聞きとりながら丁寧に対応しています。

問 生活保護資産調査の過程で、タンスを開けるなど、申請者の人権侵害にあたるような調査は避けるべきではないかな。

答 事前に申請者の了解を得ています。また、申請者が女性の場合は女性の調査員が担当するなど、人権に配慮して調査しています。

森林環境譲与税
の幅広い活用を！

問 令和3年度、森林環境譲与税^{かふ}の使い道の内訳は。

答 ハッピーバース応援ギフトの木製玩具や市内の森林整備、令和5年度に開校する山南中学校の木質化への基金積立も行っています。

問 丹波市内を一巡する森林整備計画は立てられないかな。

答 地籍調査が未実施の山林も多く、森林整備が必要となる時期が様々であり、長期的な計画が難しいのが現状です。

^{かふ} 森林環境譲与税：間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進など森林整備及びその促進に関する費用に充てることとされています。

委員会で出た
主な質疑庁舎建設基金は
どうするの？

「新庁舎建設反対」とした市長公約によって、新たな積み立ては言うまでもなく、議論すら進めていないことを疑問視した質疑がありました。

問 庁舎建設基金は、将来の財政負担を考慮すると少しでもできるときに積み立てておくべきではないかな。積み立てない根拠は何か。

答 庁舎建設は、現市長の間は凍結する方針です。庁舎の整備、建設の協議や検討も凍結している前提で、基金の積み立ても凍結しています。

問 議論も凍結することが正しいことなのか。

答 市長の方針は従来から説明しているとおり変わっておりません。庁舎の建設や整備について将来どのようにするかその時に議論すべきであって、現在は議論のテーブルにも上がっていない状態です。

事務執行における
コンプライアンス
の指摘あり！

歳入歳出決算などに必ず付される監査委員からの審査意見書の中で、事務執行におけるコンプライアンスの指摘がありました。

問 審査意見書の「最後に」では、「メール誤送信の再発」「通知文書の誤送付」「システムへの誤入力」「領収印の日付誤り」「公金の過大徴収」や「監査請求事案」などが指摘されており、市民の不信感につながっている。職員一人ひとりのコンプライアンス意識はどうか。

答 職員一人ひとりがその指摘を真摯に受け止め、業務の適正を確保し、規律を重んじ公正公平に職務を遂行することにより、その継続した取組の延長線上に市民の信頼があることを常に肝に銘じて、その徹底を行うことが必要と考え、現在、取組を進めている状況です。

再発防止には、「本を正す」^{もとただ}根治療法に令和3年度より着手しております。コンプライアンスの推進、組織統治に取り組んでいる管理職の責任は重く、大きなトラブルに発展する小さな事務ミス・同じミスの繰り返しを後を絶たない現状は、基本に忠実であれば防げるものばかりであり、管理職のマネジメント力に起因するところが大きく、管理職が変われば必ず組織も変わると考え、取り組んでおります。



■議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

9月定例会

議案	
人事案件	○ 固定資産評価審査委員会委員の選任 高橋 誠 氏 田中 克彦 氏 矢本 正巳 氏
	○ 人権擁護委員の候補者の推薦 山本 登 氏
令和3年度 決算の認定	○ 国民健康保険特別会計事業勘定
	○ 国民健康保険特別会計直診勘定
	○ 訪問看護ステーション特別会計
	○ 地方卸売市場特別会計
	○ 駐車場特別会計
	○ 看護専門学校特別会計
	○ 水道事業会計
令和4年度 補正予算	○ 下水道事業会計
	○ 一般会計（第4号）
	○ 国民健康保険特別会計直診勘定（第3号）
	○ 介護保険特別会計保険事業勘定（第3号）
	○ 後期高齢者医療特別会計（第1号）
	○ 訪問看護ステーション特別会計（第2号）



議案	
令和4年度 補正予算	○ 看護専門学校特別会計（第2号）
	○ 地方卸売市場特別会計（第1号）
	○ 駐車場特別会計（第1号）
	○ 水道事業会計（第3号）
制 定 例	○ 下水道事業会計（第1号）
	○ 配偶者等からの暴力対策推進委員会 設置条例
条 例 改 正	○ 市議会議員及び市長の選挙における 選挙運動の公費負担に関する条例
	○ 市職員の育児休業等に関する条例
	○ アフタースクール実施条例
	○ 市立葉草葉樹公園条例
締 契 約	○ 情報系パソコン・プリンタ購入
	○ イントラネットシステム基盤更改業務
そ の 他	○ 市有財産の無償貸付（旧芦田小学校）
	○ 市立山南中学校の廃止 特
	○ 市立和田中学校の廃止 特
	○ 都市計画マスタープランの改定

議案の審議結果



審議結果

賛否が分かれた議案と審議結果

議案		結果	賛成	反対	小川庄策	足立嘉正	酒井浩二	西脇秀隆	西本嘉宏	奥村正行	前川進介	谷水雄一	吉積毅	小橋昭彦	垣内廣明	太田一誠	太田喜一郎	大西ひろ美	近藤憲生	山名隆衛	渡辺秀幸	広田まゆみ	須原弥生	藤原悟	
令和3年度 決算の 認定	一般会計	付託先の委員会 では不認定			○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	退	●	●	○	○	委員長	○	●	●	議長	
		認定	9	9	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	退	●	●	○	○	○	○	○	●	●	議長 裁決
	介護保険特別会計保険 事業勘定	認定	16	2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
	後期高齢者医療特別 会計	認定	16	2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和4年度 補正予算	国民健康保険特別会計 事業勘定（第2号）	原案 可決	17	2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
条例 改正	廃棄物の適正処理、減量 及び再利用に関する条例	否決	8	11	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	議長
	市立学校設置条例	原案 可決	17	2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
その他	過疎地域持続的発展 計画の変更	原案 可決	17	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
	市立鴨庄小学校の廃止 特	原案 可決	18	2	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対、退は退席、■は賛成・反対討論を行った議員。
※ 議長は議事進行を行うため、特別多数議決を除き原則として採決には加わりません。
賛否同数の場合のみ議長は裁決を行います。
※ 特別多数議決 **特**：重要な公の施設の廃止など、特に重要な議案については3分の2以上の賛成を
必要とし、議長も採決に加わります。

シカ等処理・活用事業
の事務執行は正しかった？

令和4年3月1日に解散
合意に達した鹿加工組合丹
波。その後の事務執行が正
しく行われたか質しました。

問 令和4年3月1日に鹿加工組合丹波は解散し消滅したとの説明があった。その後解散していませんとの説明になった。解散の意味や認識が変わったのはいつか。

答 解散の意向を示されたのが、その日であって、組合が保有している財産処分も含めて国などの承認がないと正式な解散とはなりません。解散の説明に丁寧さを欠いた場面もあり、混乱を招いてしまいました。

問 丹波市農業補助金交付要綱第8条にある補助事業を中止・変更・廃止する場合に必要な申請がないのはなぜか。

答 解散の意向を示されたので、令和4年2月末までをもって補助事業の完了として実績報告により確認しております。

問 有害鳥獣対策は市の責務で行われる事業であり、国等の承認があるまでは正式な解散とならないと答弁する中で、なぜ令和4年2月28日で稼働を停止したのか。

答 補助事業は完了しましたが、施設の稼働は停止していません。

問 解散の意向を示された3月1日から31日までの1か月間、捕獲・駆除されたシカ等の処分はどうしていたのか。

答 3月中は、県の事業を基に施設で受け入れを行っております。市への実績報告は求めておりませんので、正確な数等は把握しておりません。

こども園の補助金
はどうなっているのか？

使途が非常に広い「こども園の課題解決型補助金」。その多くが職員の処遇改善に充てられていることなどについて質疑が相次ぎました。

問 保育職員の処遇改善は本来、国のすることではないか。

答 令和4年2月から9月までは国からの交付金で対応しています。ちなみに、令和4年10月から保育職員の処遇改善分は公定価格²に算入されます。

問 課題解決型補助金と、他の補助金を二重に交付していることはないのか。

答 他の補助金での不足分を、課題解決型補助金で補われている場合もあり、補助金が二重にならないよう確認しています。

問 課題解決型補助金を利用した通園バスの購入に際して、市当局も補助率を把握できない制度設計になっている。従前にあった1／2補助のバス補助金を残しておくべきではなかったか。

答 この補助金に限らず、補助金の制度は社会情勢や効果等を勘案しながら、適切なタイミングで見直していくものと考えております。

² 公定価格：子ども1人あたりの園への補助単価として、「施設の定員数」、「子どもの年齢」、「施設所在地の地域区分」等を勘案し、園の運営にどの程度必要かを国が算出した価格。公定価格から利用者負担金を除いた額の概ね1／2を国が、1／4を県と市がそれぞれ負担している。

過疎地域持続的発展計画の変更

令和3年4月1日、青垣地域が過疎地域に指定され、過疎地域持続的発展計画が策定されました。令和4年4月1日、新たに山南地域が過疎地域に指定されたことを受けて、これまでの計画を見直すものとして提案されました。

問 今回提案された計画も一般財源からの支出を、市の負担が少ない有利な過疎事業に振り替えただけの計画ではないか。今後、市民の意見を聞いて計画を見直す考えはあるのか。

答 計画は、過疎対策事業債が活用できる事業を掲載しており、財源が課題でこれまで取り組めなかった事業、そのほかの財源を活用する事業など、過疎対策の取組として幅広く記載しています。地域の意見を踏まえ、今後も必要に応じて計画の見直しを行います。

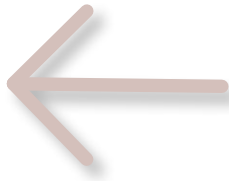


問 農業や教育は、過疎地域に限ったことではなく全市的に取り組むべき施策ではないか。過疎計画の趣旨を考え、過疎脱却に向けた特色ある新たな計画にすべきではないか。

答 農業や教育は全市的に取り組む事業ではありますが、新たな取組などは、過疎地域でモデル的に展開し、その成功事例を丹波市全域に波及させることも検討しています。

過疎対策事業債：過疎地域の市町村が過疎地域持続的発展計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債。元利償還金の7割が交付税措置される。

	賛成の意見	反対の意見
財源の問題	- 財政収支見通しは非常に厳しく見積もったデータで、これまでその見通し通り赤字になったことは一度もなく、その見通しを根拠に考えることは現実的ではない。 - 実際に10年前の財政収支見通しでは赤字の見通しだった令和3年度決算では、単年度収支19億円の黒字となっており、財源は十分に確保できる。	- 財政収支見通しで令和6年度から収支が赤字になることが見込まれている中で、将来にわたるコスト計算がわかる資料が作られていない。 - 市民の経済的負担が将来にわたって、軽減できる施策かどうかを判断するための元となる資料が作られていない。総合的な判断ができず、疑問が残る。
市民の気持ち	2回も否決すると、ごみの減量に対する市民のやる気を削いでしまうのではないか。 - 市長と議会が対話不足でねじれ、丹波市政が空転している。そんな丹波市政に対して市民が期待をもてず、諦めの気持ちになってしまうことは避けたい。	



9月定例会
ココがギロンの
論点!

市長公約 「燃やすごみ袋半額化議案」 昨年12月に引き続き 9月も否決!

市民の経済的負担を軽減し、住みよいまちづくりを進めるために提案された「燃やすごみ袋料金半額化議案」。今年度4月以降に始まった燃やすごみ減量化施策によって燃やすごみは減量傾向に転じているものの、丹波市議会は再び否決しました。
賛成、反対の主な意見は下表の通りです。



	賛成の意見	反対の意見
タイミングの問題	- 令和9年度の山南地域のごみの受け入れに向けて、市当局は年単位の目標値を示して、それに合わせた施策を打っていく納得のいく計画を示している。 - 来年度当初予算に間に合わせるなら次の12月議会での提案でも可能で、少しでも長い調査期間が求められることを考えるとタイミングとしてベストとは言えないが、前回よりベターである。 - 今年の4月以降の減量化施策により、減量の目標数値に乗ってきている。この分別習慣が一旦定着すれば、燃やすごみ袋が半額になっても分別がなされるだろう。 - いつの時点でできるかできないかを定めるのは難しい問題で、執行機関の市当局がやる気のタイミングでやらないと始まらない。	3ヶ月程度の調査期間では、判断するのに短すぎる。 - 減量が進んでいるという報告はあったが、その減量に対して一定の評価ができたという判断は難しい。だからまだ提案するタイミングではないのではないか。 - コロナ禍での屋内の清掃が終わったからごみ量が減っているだけではないか。 - ごみが増加傾向になったら、「増えた時に考える」というのは無責任だ。 - まだまだいろんな角度から考えるべきである。 - 前年度に比べてごみ量は減ってはいるが、最終的な目標値一人412g/1日には至っていない現在では、半額化は難しい。 - 仮にごみが増えすぎて丹波市クリーンセンターで受け入れられなくなったら大変なことだ。しっかりと、できれば2年くらいデータが出るまで待つというのが、正しい判断だ。
価格の問題	- 近隣他市に合わせないと、県下一高い料金設定は住民サービスが欠けているイメージがある。近隣他市に合わせた40円が妥当ではないか。 - ごみ処理は行政の責任であり、受益者負担である必要はない。	- 減量に成功すればごみ袋代が減るわけで、ごみを減らすことが一番だ。 - 半額の根拠がわからない。それで市民の経済的負担の軽減につながるのか。 - 物をたくさん購入する人が燃やすごみを発生させやすいだろうから、ごみは受益者負担という考え方であるべき。

民生産建常任委員会 からの報告



民生産建常任委員会では今年度第1回の「市民との意見交換会」で出された意見を調査しました。

地域医療に関する事項

- 地域に医院がなくなった。
- 小児科・皮膚科をもっと充実させてほしい。
- 【市からの聞き取り】
- ・かかりつけ医をもつことの市民意識調査では、「満足」「やや満足」が丹波圏域では69.4%でした。市内の開業医が減少傾向にあることは認識しています。
- ・市としては丹波医療センターの医師確保、国保青垣診療所の充実に努めています。

課題

医師確保、医院開院の地域の活動の支援策を検討すべきです。医療体制を全市的に充実させる計画を持つことも重要です。

障がい者福祉制度に関する事項

- 市の障がい者福祉の人材不足を解消し充実させてほしい。
- 障がい者外出支援が十分ではない。
- 「まんがいちネット」は実際は使えない制度
- 【市からの聞き取り】
- ・おでかけサポート事業は、登録者428人、実利用者は221人です。障がい者移動支援事業は登録者196人、利用者は34人の利用となっています。
- ・「まんがいちネット」は登録22人、協定締結事業所35事業所でこれまでの利用実績はありません。
- ・障がい者の外出は丹波市が少ないということはないと認識しています。

課題

市の施策と利用者の声にはギャップがあり、利用者アンケート、面談などで障がい者福祉制度の充実が求められます。

「剪定枝の堆肥化の取組」について（宝塚市 視察報告）

- とき 令和4年8月1日
- 場所 「緑のリサイクルセンター」
- 参加者 民生産建常任委員会委員9名、議会事務局2名、生活環境部長

最初に、運び込まれた剪定枝・刈草を細かいチップにする場所を視察しました。次々と軽トラなどで剪定枝・刈草が運び込まれてタブ・グラインダーで細かく砕かれ、生チップにされる様子を見ました。場所は約1,500㎡とあまり広くありません。

受入量は年間8,212t（実績値、全ごみ量の15%）が運び込まれ、件数は28,555件です。熟成チップは持ち帰り329t、配送1,006tです。残りは業者に売却。個人への配布は無料とのことです。平成11年4月1日から稼働しており、稼働は順調に進んでいるようです。

次に熟成チップ置き場（約1,000㎡）に移動し視察しました。生チップをこの場所に運び入れ、3ヶ月～6ヶ月自然熟成させ、各家庭等への配達も無料で実施されています。

このリサイクルセンターは、業者に委託し、10名が勤務されているとのことです。搬入も比較的安価で受け入れていることは評価できます。8,000tを燃えるごみで処理すると1億円近くかかるとのことで、経済的にも環境面からも良い事業です。丹波市もごみ削減の為、剪定枝の旧青垣リサイクルセンターへの持ち込みが始まっています。今回の視察は大変参考になりました。

委託費（歳出）	87,780千円
処理手数料（歳入）	48,124千円
収支	▲39,656千円

総務文教常任委員会 からの報告

100条委員会調査報告 （概要）

この度、調査委員会から報告書が提出され、採択されました。

1 概要と経過

令和3年6月21日執行された丹波市柏原町上小倉地内の旧上小倉物品庫及びその敷地の一般競争入札において、最低売却価格の決定方法や入札事務執行の公平性など、一連の事務が適正に執行されたかどうかを究明する必要があると判断した。そこで丹波市議会は、地方自治法第98条第1項に基づく事務検査権（令和3年9月1日）、地方自治法第100条第1項に基づく調査権（令和4年1月20日）を委員会に付与し調査を行った。

なお、令和4年7月15日、本件に関し住民訴訟が提起されたため、明らかになった事実に対する一部の問題の判断は、司法にその場を移すこととなった。

2 明らかになった事実と問題点 （主なもののみ）

	明らかになった主な事実	問題点
購入希望者との 事前協議	・建物購入希望者に対し、解体費を控除するなどの減額方法に言及 ・令和3年5月27日、購入希望確認のため相手方へ職員訪問 ・翌28日、相手方とともにトレーラー進入の可否を現地で確認	司法の判断を待つ。
賃貸借	・一般競争入札開始と同時に賃貸借契約締結 ・賃貸借の提案を市から行った。	司法の判断を待つ。
売却価格	・不動産鑑定士の評価額は、全体で64万円（建物0円、土地1,522万円、解体費1,458万円）。 一方、市の財産台帳上では、全体3,238万4,470円（建物1,659万4,481円、土地1,578万9,989円）であった。 ・令和6年、市が解体を予定していた際の解体費は、4,200万円であった。 ・不動産鑑定士が依頼した建築士は、建物の評価を3,500万円と回答。 ・参考意見を求めた別の不動産鑑定士は、建物を0円評価することもあると回答。	司法の判断を待つ。

（その他に明らかになった事実は、売却公告・売却物件内残置物・部内協議・決裁規程等、全16項目）

広報広聴委員会 からの報告

広報活動について

- 編集の基本方針について、
- ① ターゲットは子育て世代
 - ② 目指すは「5分でキャッチできる議会だより」
 - ③ 常に「読者目線」を忘れないとし、意志統一した。

前広報広聴委員会からの課題検討では、一般質問のコーナーの質問議員の顔写真のサイズについて、広報紙は公費で発行しており、個人の議員活動にあたる恐れがあるため、小さい顔写真に変更した。

「市議会つぶやき川柳」は回を重ねるたびに応募数が少なくなったため、「開かれた議会」を目指して新たに「丹波市議会議場見学ツアー」を企画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため実施できなかった。

丹波市内の高校3校で実施してきた「読者モニター会議」についても、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施できなかった。

議員も日々、学んでいます。

議員研修

丹波市議会では議員力向上のために、年に数回議員研修を実施しています。今回は丹波篠山市議会と合同で法政大学土山希美枝教授より「質問力を高める、議会力にいかす」について講義をいただきました。

政策立案に繋がる一般質問が大切であり、課題を解決し目的に到達するためにどのような政策が必要かを熟考すべきことを再認識しました。

広聴活動について

若者の参加を促すためにオンラインでの意見交換会開催も必要であるという認識があったため、コロナ禍を機会と捉え、オンラインでの開催を企画したが期待した程の参加はなかった。また、対面式では気軽に参加できるようにと、市民プラザの開催や託児所の設置も行うなど試行錯誤を繰り返した。

傍聴者アンケートでは、多くの市民のご意見をいただくために、インターネット中継や録画映像の視聴者も回答できるようにアンケートをホームページに掲載した。

今後の課題

若者の文字離れを考えると、若者に対してはSNS等の活用が必要であると考え。また、高齢者からは、文字を大きくするなど読みやすい紙面の要望があり、今後も課題を精査し、多くの市民に読まれる工夫が必要である。



研修を受講する議員（丹波篠山市民センターにて）

議員定数・報酬等調査特別委員会 からの報告

令和3年6月定例会にて「丹波市議会議員の適正な定数、報酬、費用弁償及び政務活動費の調査に関すること」の付託を受け、特別委員会が設置されました。

委員会15回開催、市民との車座ミーティングを8会場で行い、更に素案に対してパブリックコメントでご意見をいただき、委員会調査報告書を作成しました。今後、12月定例会で必要な条例改正を行う予定です。

委員会からの提言

■ 定数18名

今回の改選時より、現在の20名→18名とします。

■ 政務活動費を増額

現在、議員一人あたり10,000円/月
→令和5年度から15,000円/月とします。

■ 月額報酬は据え置き・期末手当は見直し

今任期中は報酬を据え置き、346,000円/月のままとします。
期末手当は、令和5年度から支給割合を他市水準に合わせます。

* 詳しくはこちらをご覧ください⇒



最終報告を作成するにあたり、委員会としての考え方は以下の通りです。

1. 市民からの多様な声に目配りすること！

議員一人ひとりが、市民に身近に感じてもらえるよう、多様な手段で広聴活動にあたらなくてはならない。

2. 議会構成の多様性が失われないように心がけること！

議会構成において、女性や若者など多様性が失われないように心がけなければならない。

3. 議会の活性化と議員力の向上のため不断の努力を行うこと！

議会基本条例にある「議員間の活発な討議と併せ自己研鑽及び資質の向上を図り行政との持続的緊張関係の保持に努めなければならない」との趣旨の徹底を図らなければならない。





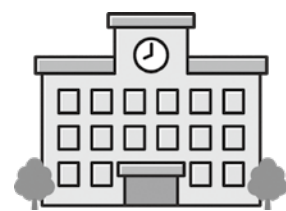
福祉関係大学のキャンパス誘致はできないか

答 難しい課題があります。が、人材確保の手段として現在検討中です。

問 人材の自前養成に力を注ぎ、将来の福祉社会に対応できる体制を作ってはどうか。

答 福祉人材確保対策会議の中で、様々な視点から意見や提案をいただきながら検討しております。本市に大学等の誘致等を進める事は、難しい課題がありますが、必要な調査・研究は行います。

問 アフタースクール運営の場所



小学校校舎内でのアフタースクール

答 校舎等を利用してアフタースクールを運営することが理想



障がい者福祉が利用者の目線でない

答 ご指摘を受けた内容は調査します。

問 民間事業所が運営する児童発達支援施設に保護者が通所させたいと思っても、職員が「まずはもみじに通ってから」と、市営の施設「もみじ」に誘導しているとの声を複数聞いている。民間施設管理者が職員に問い質すと「なんで民間にまわさなあかんねん」と何度も言われたとのこと。これは民業圧迫、営業妨害ではないか？

答 障がいのあるお子さんをどの療育施設に通わせるのかを決めるのは利用者です。担当課の職員がそのような誘導はしてはならないことであり、実際にしていないと思っています。

問 例えば、療育を受けている子どもが認定こども園に通うようになると、療育に通わないように職員が働きかけていると聞いているが、これでは良質な発達支援が望めない。後手にならないように若いうちに先手の支援を施してもらいたい。市長はどう考えるか。

答 予算ベースで見ると近隣他市より決っています。しかし今回評判が悪いという指摘を受けたので、これについては本当にそうなのか調べてみようと思います。



こどもの安心できるまちとは

答 都市・自然環境を活かした公園整備方針に沿って拡充を図ります

問 丹波少年自然の家と青垣住民センター付近の公園化と佐治川整備について市の考えは。

答 自然の家は阪神丹波10市町による事務組合所有です。現在事務組合を含む10市町でワーキングチームを構成し、財産処分・解散手続・職員処遇について検討を進めています。今後の施設の活用は、事務組合と地元との話し合いで扱いが合意されます。

問 青垣住民センター付近公園化は①子育て世代に喜ばれる公園②地域住民の憩いと健康づくりの場③いきものふれあいの里・伝承館等へ導く情報発信の場と

答 柏原地域の通学路についてどのよう

問 危険な通学路の認識

答 柏原郵便局付近の小中学校の通学路の危険箇所の把握については、道路関係者・警察・教育委員会や交通部局等で確認し対策を講じています。



丹波市ファンを増やしふるさと創生を

答 丹波市ファンの掘り起こしに向けて広く全国にPRしていきます。

問 ふるさと寄附金制度・企業版ふるさと納税制度をさらに広くPRし、丹波市応援者・丹波市ファンを増やし、丹波市の創生に有効に活かすことができな

答 更なる丹波市ファンの掘り起こしに向けて、インターネット広告により広く全国へPRするとともに、返礼品について体験型や季節限定品・定期便など特徴的で魅力的なものを用意し、丹波市を応援していただける新規の寄附者だけでなく、リピーターとしてかわり続けていただける支援者の獲得に努めてまいります。

問 販路拡大に繋がる特産品のブランド化を

答 丹波市独自の特産品等認証制度を創設し、特産品等のブランド力を向上させ、生産者や加工者の販路拡大に繋ぐ施策はできないか。

答 過去に制度を具現化できなかった経緯・経験を踏まえて、改めて創設するよりも、既に丹波市産農産物は、地域的ブランド力が十分備わっているため、多様な媒体を活用し、情報発信をすることでブランドの更なる強化に繋がり、販路も拡大していくものと認識しております。

問 参加チームが市内で宿泊できる体制や、球場のトイレ改修等が必要ではないか。

答 また、設備の整備や安定した運営のための財源確保に、ふるさと納税は活用できないか。

答 野球チームが市内で宿泊することは重要と考え、宿泊関係者と調整を行い、出場に宿泊施設を積極的にPRします。トイレの洗面台の改修は検討しますが、大会中は引き続き仮設トイレの設置で対応します。運営の安定確保は企業版ふるさと納税等を活用します。



女子硬式野球選手権大会の支援を

答 市内での宿泊調整や企業版ふるさと納税等で財源確保に努めます。

問 期日前投票率の向上対策を

答 若者の投票率向上のために商業施設等での投票や投票箱を積んで地域を巡回する移動投票所は考えられないか。また、投票所までのデマンドバス利用に補助はできないか。

答 商業施設等での期日前投票所設置については先進地の視察を行い、施設と問題点を協議します。投票所までの距離は均一化されているため、移動期日前投票所の導入は検討していません。デマンド型乗合タクシーの利用者のみの運賃補助は不公平と考え、補助しません。



学校図書館運営体制の充実を

答 当面は市立図書館との連携を図ることで対応します。

問 学校司書を配置し、調べ学習等の支援を充実させる必要があるのではないか。

答 役割は大変重要と認識しています。学校図書館法でも学校司書の設置が努力義務とされています。しかし丹波市では未配置です。当面は学校図書サポートや市立図書館との連携により学習を深めるレファレンス(資料調査)機能の充実を図ります。

問 子どもたちの情報活用力を学年に応じてどう高めていくか、ネット利用だけでなく図書館の役割も位置づけ計画立てて取り組むべきでは。

答 「ナッジ」などは効果的な市政運営に資するものと考えます。現在、職員が自主的な研修活動に取り組んでおり、今回の提言をきっかけに現在の取組の変化や新たな取組の立ち上げにつながるものと考えています。



ひろた 広田まゆみ 議員

医療機関に対する燃料費高騰対策

答 今後、財源の確保ができれば、何を優先すべきか検討します。

問 国の医療機関に対する支援の考え方を踏まえて、医療機関についても原油価格等高騰対策補助金の補助対象事業者に加えることについての考え方は。

答 厚生労働省から「コロナの影響を受けている医療機関においても地方公共団体の判断により臨時交付金の活用を検討することが考えられる」旨の通知が届いています。今後財源の確保ができれば庁内でのように活用するのか、何を優先すべきか検討します。

問 防災士の育成支援についての考え方を問う。

答 広域的な防災・減災に活動いただく防災士、自主防災組織で地域の担い手として活動いただく防災リーダーの必要性を周知し、その養成を積極的に行っています。既に活躍いただいている防災士や防災リーダーの技能向上訓練についても、兵庫県と連携して実施します。



マイ避難カードをつくろう



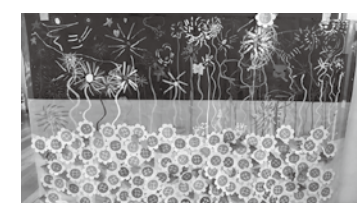
おおし 大西ひろ美 議員

早寝早起きひまわりプロジェクトを横展開に

答 各学校への情報共有に務めます。

問 南小学校の早寝早起きひまわりプロジェクトを市内学校に推し進めてはどうか。

答 南小学校で早寝早起きの取組をされ、学校からは大きな成果を得ることができたとの報告は受けております。他の小学校でも地域の実情に合わせ同じ目的の取組を、工夫を凝らし実施しております。



南小学校での「ひまわりプロジェクト」の掲示物

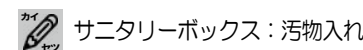
問 好事例として情報共有から始めてはどうか。

答 月1回の校長会等で、お伝えすることはできます。

男性用トイレにサニタリーボックスを！

問 男性の中にも病気の等により尿漏れパッドやおむつを利用されている方がいる。安心して外出できるように男性用トイレにもサニタリーボックスの設置が必要ではないか。

答 既に取組まれている自治体の状況を把握し、効果的な設置に向けて研究してまいります。



にしもと 西本 嘉宏 議員

学校給食に有機米の導入と産地づくりを

答 有機農業の推進に向け、「推進協議会」を核として進めます。

問 学校給食に有機米の導入と有機米の産地づくりのため、公民協働の「協議会」において具体化しては。

答 試行的な取組とし、今年度2回学校給食に有機米を使用します。今後、有機農業の産地づくりのために「推進協議会」を核として協議、検討していきます。

DX（デジタル）化の課題と問題点

問 ①推進体制に関連企業の人材登用はあるのか。②住民生活に係る20事業の「標準化」をどうするのか。③窓口業務は、無人化で進めるのか。

答 ①民間企業人材の活用は検討していません。②標準化は関係ありません。

旧統一協会との関係について

問 旧統一協会のかかわりとその関係や被害の把握、啓発を進めるべきではないか。

答 反社会的な活動を助長し、国民の不信感を煽るものです。調査をしましたが一切関係はありません。被害の相談はありませんが、被害防止に向けた啓発活動に努めます。



おがわ 小川 庄策 議員

プラの指定ごみ袋の今後の在り方はどうか！

答 分別状況などを注視しながら、無料化を含めた在り方を検討します

問 プラ製包装容器の認識は「ごみ」？「リサイクル品」？

答 有効に活用することが大切です。リサイクル可能なごみと認識しています。

問 令和3年8月、指定ごみ袋（プラ）の半額化に伴う分別促進の効果は、前年対比9%増と予想を超える結果となった。これは丹波市民皆様の不断の努力に感謝すると共に丹波市民ならごみの削減目標に達する見込みの表れではないか。今後、プラの指定ごみ袋の在り方はどのようにお考えか。

答 現在、ごみ処理費用の一部を徴収することで、費用負担の公平性が確保されています。プラスチック用袋は、燃やすごみ用袋と比べ、価格負担を抑えることで分別が促進されたと考えられます。今後は、ごみの発生抑制やごみの分別状況などを注視しながら、プラ用ごみ袋の無料化を含め、指定ごみ袋制度の在り方を検討してまいります。



無くなるか！（プラ用ごみ袋）

ミライプロジェクト 2022

柏原高校生 × 福知山公立大学生 × 丹波市議会議員

議会と若者の距離を縮め、議員として新たな視点や気づきを得るとともに、若者の意見や考えが反映される「丹波市づくり」につながることを目的に開催しました。

初めに、福知山公立大学の杉岡秀紀准教授による「よそもの・若者・変わりもんと地域づくり」と題した講演があり、その後『『丹波市のふるさと住民（よそ者）』と『丹波市内の高校生（若者）』『福知山公立大生（若者）』との交流が活発化するための方策を考えよう』についてグループワークを行いました。有意義な時間となりました。ファシリテーターは大学生が、発表は高校生が担当しました。

外部視点(よそもの)ならではの隠れスポット写真をSNSで発信する。

体験型イベント(農業・昔あそび・山登り)を開催し、学生が主体的に関わる。

2回目のギネスチャレンジをして、SNSで発信する。

まちづくり観光バスを運行してYouTubeやSNSで発信する。

将来の担い手育成のためにも、若者の祭りへの参加を増やす。

かいばら一番館や祭りでマルシェの出店をする。

高校生が隠れスポットをガイドする。

電車やバスの待ち時間を有効活用し、ギター演奏など地域イベントを開催する。

「開かれた議会」をめざして!!

表紙の紹介



表紙画作者：平山 元喜 さん（2年）
嶋田 光里 さん（2年）
足立 瑞希 さん（2年）
西中 勇晴 さん（1年）
伴 朋美 さん（1年）
高見 夢 さん（1年）
尾上 ひいろ さん（1年）

今月号の表紙は、兵庫県立柏原高等学校美術部の皆さんにご協力いただきました。

【表紙画のコンセプト】

私たち・僕たちはここに居ます。私たち・僕たちのことを見て政治をしてください。

背景は丹波市の自然をイメージして雲海を描きました。

【美術部の紹介】

部員数は1・2年生の14名で、楽しく活動しています。

11月に開催される県総合文化祭に向けて作品づくりを頑張っています。

市や議会に
期待していること

電車の本数が
少ない。

勉強のできる
場所がほしい。

青垣へのバスの
最終便をもう1本
追加してほしい。

18歳になったら
選挙に行こうと思うが、
議員の考えが伝わって
こない。

12月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
4	5 本会議 議案構成 9:30～	6 本会議 議案提案 9:30～	7	8	9	10
11	12 本会議 一般質問 (個人) 9:00～	13 本会議 一般質問 (個人) 9:00～	14 本会議 一般質問 (個人) 9:00～	15 本会議 議案質疑 委員会付託 9:30～	16	17
18	19 総務文教 常任委員会 9:30～	20 民生産建 常任委員会 9:30～	21 予算決算 常任委員会 9:30～	22 常任委員会 予備日	23	24
25	26 本会議 議案採決 9:30～	27	28	29	30	31

*上記の日程は変更になる場合があります。
最新の情報はホームページなどでご確認ください。



F M 8 0 5 たんば

「議員さん こんにちは！」で
「たんばりんぐ」情報発信中！

議会をもっと身近に



放送日

10月25日（火）
午後8時30分～
※再放送は
10月29日（土）
午後3時30分～

本会議や委員会の視聴は パソコン・スマホが便利♪



動画配信

市議会では、本会議や委員会の様子をインターネットで動画配信しています。

録画映像も公開しておりますので、見逃した方もパソコン・スマホでご覧になれます。

（録画映像は会議終了後、1週間程度で公開）

ご存じでしたか？
あなたの想いを
市へ届ける方法

議会と

市民との 意見交換会

みなさんの地域へ議員がお伺いします！

日頃、暮らしの中で
気になっていることを
話してみませんか？

あなたの
減量化アイデアを
お聞かせください。

地元の有機食材での
給食は、果たして
実現できるのか？

途中退出
できます。

今回のテーマ

A
ごみ袋料金
と減量化

B
庁舎の
在り方

C
農業政策

D
その他

改修する？
建て直す？

なんでも
お聞かせください。

オンライン以外は
事前申込なしで
参加できます。

とき：**11/7月～11/11金**

午後7時～

市民プラザは午前10時30分～

11/7（月）氷上住民センター
ハートフルかすが

11/8（火）ライフピアいちじま
11/9（水）市民プラザ

11/9（水）青垣住民センター
山南住民センター

11/11（金）柏原住民センター
オンライン（Zoom）

要事前
申込

オンラインの申込方法

①～⑥の事項を **11月4日（金）午後5時までに**
ikenkoukankai@city.tamba.lg.jp
のアドレスへメールでお申込みください。

- ① 氏名
- ② 年代
- ③ 居住（拠点）地域
- ④ メールアドレス：URL・ミーティングIDを送るアドレス
- ⑤ 電話番号：当日連絡ができる電話番号
- ⑥ 意見交換したいテーマ：上記の中から1つ選んでください。

- 申込み時に入力されたメールアドレスに開催日の3日前までにZoom参加用の接続URL・ミーティングIDをお送りします。
- 事前にオンライン会議ツール「Zoom」のインストールが必要です。
- Zoomの使い方、インターネット環境のサポートはいたしません。
- 通信料は自己負担となります。

参加時の注意事項

主催者の広報活動、記録のために録音、撮影をさせていただきます。
また、広報紙に写真を掲載させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
参加者による無断録音・撮影は固くお断りいたします。

お問い合わせ

丹波市議会事務局
☎ 0795-82-1472



意見交換会



丹波市の自然の
よさを若い世代に
もっとアピール！



青垣町松倉の清水川「バイカモ群生地」より

どんな年齢の子どもも
遊べる公園があったら
いいなあ。



「あおがき de あそび隊」の皆さん

自然豊かな青垣で体を使った自然遊びをしています。

丹波市と 市議会のココに期待しています！



「丹波優しい給食の会」の皆さんと
ワークショップ参加者さん

オーガニック給食にした方が
材料費がかからなかった事例も
実際にあるので、オーガニック
は高いというイメージに囚われ
ず、全国の事例を元に一緒に
検証し、保護者負担は現状の
まま、保護者にも子どもにも
環境にも優しい給食を一緒に
考えていきたいです。

掲載団体募集中！（市内の非営利活動団体に限る）

広報広聴委員会ではこのコーナーに参加いただける団体を募集しています。
ご希望される団体の方は下記までご連絡ください。

※ 写真撮影のためマスクを外しています。

※ 個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
須原	太田	谷水	西脇	小川	前川	広田	藤原
弥生	一誠	雄一	秀隆	庄策	進介	まゆみ	悟

「発行責任者」
「広報広聴委員会」

あとかき
紅葉の便りが聞かれ
る季節になりました。さ
て、「たんばりんぐ」の
発行は、2年に一度の委
員会再編の為、現メン
バーでは最後となりま
す。
私たちメンバーは、一
人でも多くの皆さんに
「たんばりんぐ」を手に
取っていただくために
「読者目線」を大切に、
本文に誘導できるタイ
トルづくりを心掛けま
した。まだ十分ではあり
ませんが、次期の委員会
に託したいと思っています。
今後とも丹波市議会
および議会だより「たん
ばりんぐ」を、よろしく
お願いします。